

学校法人原田学園 鹿児島医療技術専門学校

令和 5 年度 学校関係者評価結果報告書

I. 学校関係者評価委員会の実施

1. 実施日:令和6年7月13日(土)
2. 評価者:鹿児島医療技術専門学校 学校関係者評価委員 14名
3. 議題:1) 令和5年度に定めた重点項目及びその実績報告について
2) 令和5年度 自己評価結果について
3) その他

II. 評価結果

項目番号	評価項目名称	評価点(平均)
1	教育理念・目標	3.4
2	学校運営	3.6
3	教育活動	3.7
4	学習成果	3.0
5	学生支援	3.3
6	教育環境	3.7
7	学生の受け入れ募集	3.1
8	財 務	3.7
9	法令等の遵守	3.9
10	社会貢献・地域貢献	3.4
11	国際交流	3.7

Ⅲ. 評価意見

1. 教育理念・目標

- ・保護者への理念、目標の周知が不十分。ただし、検討している点を評価。
- ・学生・保護者に対しても学校の理念や目的が浸透しているかアンケートを実施され、原田学園のポリシーを積極的に伝えてもらいたい。
- ・理念や目標は学生、保護者へもわかりやすく広報を。
- ・教育理念や3ポリシーも現在でしっかり定められており、パンフレット等での広報周知も確認できた。現在3ポリシーの見直し中が課題となっているが、適時見直しを行っていることは加点と考える。
- ・教育理念、目標は適切だと思います。
- ・教育目標、3ポリシーが明確化され提示されることを望みます。
- ・3ポリシーの見直しが学校運営や教育活動全体に関係するため、WSを通して具体的に検討されていることは評価できると思います。
- ・理念・目的・育成人材については、教育理念、3つのポリシーに明確に定められ、学校HP・パンフレットにも記載されており、学校が目指す方向性が分かりやすいが、入学検討者、保護者、関係各所へいかに周知させるか、見ていただくかの工夫が必要であると考えます。また、4年課程・高度専門士取得のメリットを明示していただきたいと思います。
- ・予測困難な時代に、高い志を持ち再挑戦することを可能にした社会人入試など、選抜方法の多様化は評価できる。
- ・専門学校としての理念などしっかりしており、学生も安心して勉学に励み、保護者の期待も大きいものがあると感じる。時代のニーズに応えている。

2. 学校運営

- ・課題が明らかになっており、順次改善予定であることを評価。
- ・ICTの活用、ペーパーレス化の取り組みは、ぜひスピード感をもって進めて頂き、業務効率をあげ、学生への指導する時間を増やしたり、教職員の負担軽減を図ってもらいたい。
- ・各種委員会は充実されています。
- ・ネットワーク環境整備は優先的に。
- ・今回の「自己評価結果報告書」を拝見した時に、各項目において委員会別に類似した意見が記載されている様で、組織の縦割りによる情報共有不足が懸念される。
- ・必要数だとは思いますが、学科によって教職員数に偏りがあるようですが…。
- ・委員会やプロジェクトチームが設置されており、組織運営として評価できます。
- ・定員の充足や退学につながる悩みを抱えている学生への対応に専門的に携わることの出来る人員・専門家の配置、チーム体制はあるのでしょうか？さらなる充実の計画があるのでしょうか？
- ・事業計画立案、委員会設置など学校運営に前向きに取り組んでおられることが分かります。せっかく立案された事業計画や設置された委員会ですので、より活発で継続的な取り組みに期待したいと思います。
- ・各委員会や運営会議が機能し、適切に運営がされている。
- ・地域社会に対する報告会や公開講座など積極的にされ、責任は十分果たされていると考える。

3. 教育活動

- ・OT・PT 学科でキャリア教育が不十分。関連分野との連携をさらに進める必要がある。
- ・国家試験合格率を全ての学科で維持・底上げする努力を。
- ・国家試験の合格率は高くあり続けて頂きたい。
- ・先生方の負担を考慮しながら既卒者への対応もお願いします。
- ・現状での課題分析が適切に行われており、改善に向けた活動も積極的に行われている。「教育課程編成委員会」の中でも、有効性の高い改善取り組みを確認できた。以前と比べても、改善策の質がかなり向上していると思う。
- ・適切だと思います。
- ・人材育成や国家試験合格に向けて、取り組みがなされている。
- ・授業アンケートは数値よりも学生の生の声(記述)の方が具体的な改善に有効だと思われ、中間に実施する方法もありえると思います。
- ・学内講師の意見だけでなく、教育課程編成委員会、実習指導者会議等により、教育方針や内容について広く協議・検討され、随時見直しされていると感じます。また、成績低迷の学生に対する支援策をより一歩踏み込んだものにしていただくと、退学者や留年者の減少に繋がるのではないかと思います。
- ・実態にそくしたポリシーの策定、もしくは国家試験合格率の向上に資するカリキュラムポリシーの策定が必要である。
- ・国家試験の合格率向上に向けて、全職員一丸となって取り組まれ実績を上げている。合格率も向上してきており、保護者の期待も大きいものがある。
- ・いつも先生方に頑張って教えて頂き、ありがとうございます。
- ・資格取得において、学科のバラツキがあり、検討し対策強化が必要。

4. 学習成果

- ・退学予備軍へのメンタルヘルスケア、生活指導をする必要がある。
- ・退学率が高いとのことであるが、入学時や入学後のフォローを継続的に根気強く行ってもらいたい。
- ・国試合格率の低下。
- ・国試合格の数は学生確保の最大ツール。
- ・退学対策が問題となっているが、要因を確認すると入学者の質の向上が必要と考える。
- ・卒業生の動向評価について、最近は所有資格と異なる業種への転職も増えていると感じており、業界全体での対策も必要と考える。
- ・入学時からの伸び率。
- ・同職種、他学校との比較が可能なものでしょうか？
- ・国家試験合格はもちろんのこと、資格取得など高い意識で取り組むことが望ましい。
- ・できることは行われているが、成果が上手く出ていない印象でしたので、継続した取り組みに期待しています。
- ・医療系専門学校の使命である国家試験合格率につきまして、学科によっては前年度を下回る結果だったとの報告があります。全体職員研修や国試対策委員会設立などの取り組みをされていますが、学生の意欲や質に関わる部分も多く苦慮されていることが感じられます。
- ・退学率低減の改善が課題としてあり。
- ・国家試験合格率と退学者数は、保護者、高校が学校を選ぶ重要な要素である。更なる改善が求められる。
- ・退学率が減少するための対応策に十分取り組まれている。
- ・既卒者への対策が必要。
- ・退学率について、入学時の目的の確認を改めてする場を設ける等対策が必要。

5. 学生支援

- ・国家試験合格率向上のため、夕方以降の学習環境の更なる整備をお願いしたい。
- ・引き続き学力低迷者やメンタル的な課題を抱える学生へのフォローを継続して頂きたい。
- ・家庭環境の厳しい学生にはご支援をお願いします。
- ・コロナ禍の学生へコミュニケーション UP の支援を !!
- ・健康面・経済面・教育面から多様な学生支援が確認できる。今後は経済的支援は収益とのバランスを考慮していく必要性が高いと思われ、注意が必要であると考える。
- ・適切だと思います。
- ・国家試験合格の支援や就職支援、スクールカウンセリングなどの取り組みもあり、学生支援は充実している。
- ・人の支援をどれだけ充実できるかが対人援助職になる学生にとっての経験という点でも重要だと思いました。
- ・教育委員会からの報告に「学力低迷者やメンタル的に課題を抱える学生への対応」が記載されています。その対策の一環としてスクールカウンセリングを実施されているようですが、相談件数の減少が気になります。より学生が気軽に相談できる環境づくりに期待したいと思います。
- ・項目 6: 軽食等あらかじめ持参ではいけないのかなと感じました。
- ・多様な生徒が入学していると思われるので、SC の実施など、心理的サポートを引き続き、実施していただきたい。
- ・学生自身はもちろんであるが、保護者との関係を密にされ、経済的な支援や健康管理なども一人一人の学生にしっかり目を向けられている。
- ・もう少し、保護者ポータルが活用できたら良いと思いました。

6. 教育環境

- ・実習地確保ができていることを評価。
- ・今後 ICT 教育は必須になると考えるため、積極的に取り入れて頂きたい。
- ・すばらしい学校環境だと思います。
- ・以前、学校の立地条件が悪い(首都圏では駅前にあるのがあたりまえ)との話があったが…。
- ・訪問時も環境については整備されている印象を受ける。また、VR 教育等、DX や AI についても積極的に取り組んでいる。
- ・災害対策は立地上必要不可欠と思われるので、日頃から留意することが重要。
- ・十分すぎる程だと思います。
- ・教育環境は、申し分ないと思います。
- ・さらなる充実が期待できる内容だと感じました。
- ・教育委員会からの報告では、遠隔講義設備の充実、医学的文献検索ライン契約など環境整備に取り組んでおられることが感じられます。臨床実習先については全学科で 20 箇所の施設が追加になり学生に適合する実習先が選択できるようになったのではないかと思います。
- ・施設、設備の整備は、状況に応じて適切に行われ、良い環境にあると思う。
- ・環境的には申し分ないと思う。築年数等を考え計画的な対策を講じている。
- ・地域住民等への配慮も十分である。

7. 学生の受け入れ募集

- ・学生募集活動が安定充足率向上に結び付いていない。
- ・ホームページ等のアクセス数等はどれくらいあるのか？
- ・PR 数や広告分析等もデータ化して、広報の効果を検証してもらいたい。
- ・各学科定員割れ、充足率低下の慢性化。
- ・定員数の見直しも視野に。
- ・オープンキャンパスでは保護者同伴されることを期待します。
- ・学生募集についてはかなり重点的に取り組まれている。特に高校生に対する現場見学企画は有効性の高い取り組みと考える。
- ・学納金の値上げを検討されているとのこと、現在の社会情勢を考えると、必要な時期に来ていると思われる、適切に判断、実行頂きたい。
- ・様々な取り組みがなされてると思います。
- ・中高生が医療職を知る機会を作る取り組みが、今後の学生数に影響してくると思います。
- ・募集の努力を上回るペースでの社会状況の変化が進んでいるように感じました。そのため、職業自体の魅力、勤務環境等が高校生や社会人をひきつける必要があると思います。
- ・作業療法学科や言語聴覚療法学科だけでなく、理学療法学科の充足率低下が気になるところです。パンフレットやオープンキャンパスなどでリハビリ専門職の魅力を伝える手段として、既卒者の協力などを検討されてみてはいかがでしょうか。
- ・小学生、子供たちへの職業体験等ができれば早くから、医療・リハビリに興味を持ってもらい入学率UP、退学率 down にならないかなと感じました。
- ・パンフレットも見やすいですが、実際に見て感じられるオープンキャンパスの参加者を増やす為の周知を工夫する。
- ・機会あるごとにオープンキャンパスなど催され、PR等に努力されている。近年外国の方々の受け入れなど幅広さを感じる。
- ・会議の中でもあったように、中学生へのアナウンスは必要。学校を更に知ってもらえるような対策があると良い。

8. 財務

- ・おおむね評価できるが、寄付金・助成金の獲得が十分に行えているか再検討を。
- ・学生数が減っていく中で財務の安定を保っていくのは大変であると思うので戦術等をしっかり練ってもらいたい。
- ・学生数が減っていく中で財務の安定を保っていくのは大変であると思うので戦術等をしっかり練ってもらいたい。
- ・今後の学生数確保によっては財政悪化の可能性もある。
- ・予算・収支計画、事業計画は安定されているとのことだが、学生数の減少に伴う収益の減少を考えていく必要がある。現在は人件費等の減少で対応されていると思われるが、今後、質の低下につながらない様、留意をお願いしたい。
- ・資料に記載されている通りだと思います。
- ・特に問題ないと思うが、学生確保が課題。
- ・設備や教育環境への支出は本来的・本質的に必要な事なため、マイナスの評価理由にはならないと思います。その上で安定していることは評価できると思います。
- ・短期・長期的財務状況は安定しているとの評価であるが、学生の充足率低下により収入も減少しており、より厳密な予算確保と経費運営が必要だと考えます。
- ・学生の確保と財政及び学校全体の経営バランス考慮した運営がなされている。今後は施設設備等の老朽化に伴う財務の在り方など必要と感じる。

9. 法令等の遵守

- ・良好である。
- ・適正に運営されていると思う。
- ・資料等の確認において法令等は適切に遵守されている。
- ・評価項目と少し異なるかもしれないが、現在、小中学校教員でも問題となっている、教員・職員等に対する就業規則の遵守にも留意をお願いしたい。
- ・適切だと思います。
- ・特になし。
- ・妥当な自己評価だと思います。
- ・個人情報保護対策や情報セキュリティポリシーなどがしっかり策定され、定期的な自己評価結果のHPでの公表など適切に保たれていると思います。
- ・個人情報の管理など厳しい時代であり、学生の評価など苦勞されていると思う。今後はますます厳しい時代となる。

10. 社会貢献・地域貢献

- ・公開講座、出前講座を行っている者は一部に限られる。その他の職員も積極的に実施すべき。
- ・ぜひ学生にも積極的にボランティアに参加してもらい、地域の実情を知る機会を増やしてもらいたい。
- ・放射線学科の貢献実績が少ないと思います。
- ・積極的な参画が確認される。専門職として、社会で活動することは、入学希望者の増加につながると思われるので、引き続き積極的な参画をお願いしたい。
- ・適切だと思います。
- ・ボランティア活動が進められていて良いと思う。学生時代にしか出来ない事もあるので、自発的な参加が増えることを期待しています。
- ・教員・職員のみなさまの費やすことのできる時間・力にも配慮が必要だと思いますので、人員が足りているかについても情報が欲しいと思いました。
- ・鹿児島で国体が開催された際に多くの学生がボランティア参加されたことは嬉しく思います。また、職能団体や地域団体からの依頼による講座にも協力されています。
- ・講座等、積極的に実施できていると思う。
- ・ボランティア等、多くの生徒が参加できる様、何らかのサポートが必要か。
- ・JR等の課題が多く、地域と一体となった取り組み。
- ・数多くの出前講座など積極的にしている。
- ・一部の住民による苦情に負けず取り組んでいる。

11. 国際交流

- ・良好である。
- ・今後も積極的に活動を行ってほしい。
- ・留学生の受け入れに対して適切に環境が整えられている。
- ・積極的に対策を行っていらっしゃると思います。
- ・留学生受け入れが進められている。
- ・留学生の受け入れに関する取り組みが進められており、継続の成果が出てくることを願っています。
- ・継続的留学生の受け入れについて、鹿児島県との連携や日本語学校への募集要項配布など、前向きに取り組んでおられます。現在多くの高齢者施設等で外国人労働者が働いていることから、継続した活動をお願いしたいと思います。
- ・受入体制等、良いと思います。

- ・受け入れ体制など十分配慮されている.
- ・留学生にも十分な配慮がなされている.

以上